

# 川中島白桃・黄金桃収穫出荷講習会

R6年8月11日～ JA グリーン長野 営農販売部

## 1. 生育状況

- ・生育は、梅雨時期の天候により、前進化してきた。高温が続いている事から、晩生種は若干遅れてきているが、平年より早い生育にはかわりない。
- ・中生種は、収穫序盤は品質が安定しなかったが、最盛期以降安定化してきた。しかしながら、収穫前の梅雨時期の降雨の影響も大きく、糖度は高くはなかった。そのぶん、玉肥大は、回復傾向にあるが、バラツキは大きい。また、灰星病等の腐敗病やモモシンクイガやゴマダラメイガ、クワコナカイガラムシが目立ってきている。
- ・本年は、核割れ果も多く、また樹齢や樹勢により、差が大きいため、収穫には注意したい。
- ・高温が続いている事から、着色は薄目になっているが、熟度優先の収穫、また収穫前薬剤防除を徹底し、商品化率向上に努める。

## 2. 適期収穫の取組。朝取りが基本！

### 1) 熟し方

条件	早い	⇒	遅い
樹勢	弱い樹	⇒	強い樹
樹体	上部	⇒	下部
	外側	⇒	内側
枝	先端	⇒	基部
気象	曇天降雨	⇒	高温乾燥

### 2) 適期タイミングの判断 ※皮むけに注意！

- ①果柄部の地色：川中島白桃 … 緑白色になったもの。  
黄金桃 … 薄い黄色～黄色。
- ②硬さ：手のひらによる弾力感。（果実硬度計指度・・・2.0～2.5 kgが収穫適期）

### 3) 収穫の仕方

- ①樹の上・外の大玉なものから。特に変形果（核割れ）は熟期が早いので注意する。  
本格的な収穫は、開始から3日目あたりからピークとなり8日間位で終了が望ましい。
- ②収穫最盛期は、玉の大きさによる熟しの、差がなくなる。
- ③収穫の時間は、鮮度保持のため、果実温度が低い早朝に行う。  
果実の温度が高い時間帯の収穫は、柔らかくなるのが早まる他、指の型が後で浮いてくる。
- ④収穫カゴに入れすぎて、下側の果実が打撲にならないように注意する。
- ⑤収穫用コンテナをキレイにしておく。ウレタンが不衛生のお宅が多いです。ウレタンを新品にしてください。

## 3. 果実腐敗病・スリップスの予防

灰星病・ホモプシス腐敗病・ミカンキイロアザミウマの被害果を出したら、贈答や市場の信用がガタ落ちしてしまう。薬剤防除の徹底をし、被害を出さないようにする！

### 1) 薬剤防除

**除袋後・収穫2日前防除の徹底・必ず行うこと。※情報参照**

### 2) その他

- ①特に曇天雨が続く場合は丁寧に散布を行うこと。
- ②薬剤が掛かるように、樹の風通しがいいように、薬液がかかるようにしておく。

③腐敗病は、発見したら被害を拡大させないために必ず除去し土中に埋める。

#### 4. 着色管理等

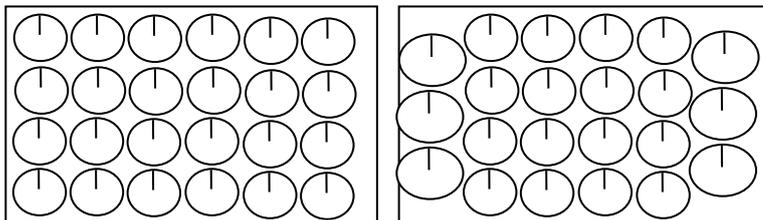
- 1) 新梢管理：日光が当たらない、薬液が通らない部位は、摘芯・切除処理をする。
- 2) 土壌管理：降雨後の排水に留意する。  
高温・干ばつが続く場合は収穫中でも、夕方10a当り5mm程度の軽く散水を行う。  
※やりすぎは糖度低下になる！
- 3) 葉摘み：果実上部の葉陰跡は等級が落ちになるが、こうあ部（ホゾ）周辺の葉跡は気にならないので、日焼けに配慮し見直しを行う。  
やりすぎると着色・糖度等に悪影響を及ぼすので注意する。
- 4) 反射シート：十分な着色を得られたら撤去する。  
シルバーマルチは圃場が暑くなり、身体につらく果実の軟化を助長し、みつ症の発生にもつながる。好天続き時はタイベックなど白いシートを使う。
- 5) 草生栽培：草を伸ばして余分な水分を吸わせ糖度の低下を抑える。  
タイベックの下は草が伸びるので、敷く前に草を刈り取る。  
土が固くなる通路などは積極的に伸ばし、土を柔らかくするようにする。

#### 5. 出荷基準・荷受

- 1) もも・ネクタリン出荷基準・・・基準に従って予備選果を行い、生果・直売用・ネクターにしっかりと分けし、手取り向上・選果効率アップに繋げる。

##### 2) 注意点

- ①収穫コンテナに『もも』を入れる際には、整然と縫合線の向きを揃えていただければ、選果効率UP！⇒時間短縮⇒経費削減に僅かでもつながりますので、できる範囲でご協力を。



※コンテナをずらす際  
コンテナの四隅の桃を  
傷めないように。

- ②きつきつ、ゆるゆるに入れると、『もも』の側面が打撲になっているので気を付けましょう。
- ③コンテナにはウレタンを必ず敷きましょう。新聞紙、薄くなった、または汚れたウレタンでは、ホゾ側が平らになってたり、汚れている事があり、せっかくの桃がもったいないです。
- ④出荷伝票の記入にハンコを使用している出荷者は、雨や朝露で濡れている時、インクがにじんで、『もも』にインクが付いてしまう場合があります。対策として、透明ビニール袋に入れるかボールペン記入に変えて下さい。
- ⑤出荷の際は、品種と箱数をもう一度確認しましょう。箱数違い・コード違い・無記名多し。
- ⑥出荷伝票のメモ欄には、「最終」や「ピーク」などご活用いただけると助かります。
- ⑦品種名は、適正に記入下さい。  
例1：実際の品種は「川中島白鳳」だが ⇒伝票に「白鳳」と記入すると別品種で×  
例2：「川中島白桃」を「川白」と記入 ⇒「川中島白鳳」と区別がつかないので×  
一般アルバイトの方等、誰が見ても分かるように記入して下さい。
- ⑧異品種混入がありますので、注意しましょう。(例：川中島白桃と黄金桃が混じっている)

##### 3) 荷受け・荷受け日時

- ①各選果場（部会支部）の指示に従う。
- ②特に荷受け予定の変更の際は、集荷所に張り紙をしますのでご覧下さい。